

里地里山保全・再生の特征的取組 個票 A (対象地域の概況)

NO.70	天覧山・多峯主 (とうのす)山		生物地理区分		コナラ林(東日本)	
			地域区分		大都市近郊	
所在地	都道府県	埼玉県	地形条件	1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地
	市町村	飯能市		4.低地	5.その他	
	集落名称等	大字飯能	環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田
				4.畑	5.小川・水路	6.ため池
7.池沼・湿地	8.社寺林	9.人工林				
10.その他						

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの :それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
都道府県立自然公園、市条例による景観緑地の指定	
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
里山環境: ムササビ、リス、ヤマザクラ、ササバギンラン 谷戸環境: ゲンジボタル、ヘイケボタル、アカハライモリ、ヤマアカガエル、ヌマトラノオ	観光パンフレット等に写真が使用されている、自然公園や景観保全のための地域指定がある



撮影時期: 2006年4月
写真の説明: 天覧入りという当地域の一番大きな谷津。休耕田で、今はヨシ、ススキが繁茂する湿地・草原となっている。ゲンジボタル、ヘイケボタル、カヤネズミ、イモリなど希少生物が生息する。



撮影時期: 2006年4月
写真の説明: 地域最高峰多峯主山(271m)から天覧山、飯能市街地を望む。2次林と人工林が混じった手入れの放棄された里山。秋にはワシ・タカの渡りが多数観測される。



撮影時期: 2010年9月
写真の説明: 市民・企業・行政等の協働組織「はんのう市民環境会議」が毎月1回里山再生作業を行っており、再生した田んぼで米がとれた。

NO.70		天覧山・多峯主 (とうのす)山		取組 主 体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所 在 地	都道府県	埼玉県			2.団体・企業・学校等
	市町村	飯能市			3.行政による支援施策の活用
	集落名称等	大字飯能			4.多様な主体が参加・連携する組織体
				5.その他	

取組 主体	主な主体の名称	NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会			
	その他の主体の名称	飯能市 はんのう市民環境会議			
目的 :主 :その他	3.環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用				
	自然観察会	*	「日よう日ふるさと散歩」毎月第2日曜に自然観察会		
	環境教育・学習活動				
	里地里山体験・環境保全	*	企業所有の休耕田や雑木林を借りて里山再生活動		
	農林業体験活動	*	田んぼ再生、ニホンミツバチ養蜂		
	エコツアー	*	年2回ほど谷津田ため池整備を有料で実施		
	その他				
取組内容	4.野生動植物やその生息地の保全・管理				
	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO の働きかけにより、谷津の周辺の樹木、ササ、ヨシ原を除去し、日照を回復するとともに、ため池整備や田んぼの再生により、ホタル、トンボ、サンショウウオなど水辺の生物の保全・増加を図っている。 ・スキ原を刈り残すことによるカヤネズミの保全も実施。 ・侵入した外来生物のオオブタクサ、オオフサモ、セイタカアワダチソウなどの除去。 ・環境省モニタリング 1000 里地調査に参加し、生物の推移を記録している。 				
取組内容	5.地域の良好な景観の保全・修復				
	<ul style="list-style-type: none"> ・谷津の周辺の樹木、ササ、ヨシ原等の間伐・刈り払い、外来植物除去 				
連携・協働による取組内容・役割分担等		<ul style="list-style-type: none"> ・里山再生は、市が立ち上げた「はんのう市民環境会議」(住民、企業、団体、市の環境に関する協働組織)とNPO が一緒に保全プロジェクトを進めている。 ・市：作業の資機材提供、広報 ・NPO：企画、動植物情報(NPO が谷津田を買取保全しているトラスト地もある) ・西武鉄道：土地の無償貸与 ・市民：作業参加 			
取組の特徴や強調したい点		<p>この地域は、西武鉄道が大規模住宅開発を予定していたが、2005年に開発中止が決定し、2007年市街化調整区域に編入された。</p> <p>2008年、天覧山・多峯主山一帯97haを市条例による景観緑地に指定して保全を進めることとなったほか、西武鉄道は「社会・環境貢献緑地評価システム認証」を取得して所有する77haを「飯能・西武の森」として保全整備している。</p>			

取組の概要	開発中止の用地をNPO主導で環境回復、関係企業・行政も協力	課題グループ 野生生物 学習体験 仕組
事例の特性	生息地保全のための里地里山維持管理活動	
取組の中で他の地域の参考となる点	開発中止となった大規模住宅開発計画地を対象に、NPO主体で、谷津の周辺の樹木、ササ、ヨシ原を除去し、日照を回復するとともに、耕作放棄水田でのため池整備により、水辺の生物の保全・増加を図っている。	